

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】令和5年7月12日(2023.7.12)

【国際公開番号】WO2022/138007
 【出願番号】特願2022-572024(P2022-572024)

【国際特許分類】

A 2 4 D 1/20(2020.01)

A 2 4 D 3/04(2006.01)

【F I】

A 2 4 D 1/20

A 2 4 D 3/04

10

【手続補正書】

【提出日】令和5年4月24日(2023.4.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0058】

第三のたばこ充填物に含まれる、水分(成分(b))は、たばこ顆粒の一体性を維持するためのものである。

第三のたばこ充填物の原料混合物は、水分を、通常、3重量%以上、13重量%以下の量で含有する。また、第三のたばこ充填物は、水分を、通常、乾燥減量の値が5重量%以上、17重量%以下の量で含有し得る。乾燥減量とは、試料の一部を測定のために採取し、採取された試料中の全水分を蒸発させることにより試料を完全乾燥させたとき(たとえば、一定の温度(105)で15分間乾燥させたとき)の乾燥前後での重量変化を指し、具体的には、試料に含まれている水分の量および上記乾燥条件で揮発する揮発性成分の量の合算値の、試料重量に対する割合(重量%)を指す。すなわち、乾燥減量(重量%)は、以下の式で表すことができる。

30

乾燥減量(重量%) = {(完全乾燥前の試料の重量) - (完全乾燥後の試料の重量)} × 100 / 完全乾燥前の試料の重量

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0083

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0083】

[実施例2]

40

開孔を設ける位置を冷却セグメントとフィルターセグメントとの境界から、冷却セグメント側の方向の2mm(非燃焼加熱式たばこの吸口端から22mm)の位置に変更したこと以外は、実施例1と同様の方法を適用し、実施例2の非燃焼加熱式たばこを作製した。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0086

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0086】

<香料デリバリー量の評価>

50

実施例 1 及び 2、並びに比較例 1 及び 2 で作製した各非燃焼加熱式たばこを喫煙試験に供し、加熱により生成される成分のデリバリー量を評価した。

喫煙試験は、Canadian Intense Regime (CIR) を参考に下記の条件で行った。

外周加熱を行う電気加熱式デバイスを使用し、非燃焼加熱式たばこを挿入した後に、ヒーター温度を 21 秒間以内で 295 まで昇温し、5 秒間以内で 260 まで降温し、評価終了まで（約 330 秒間）260 で維持した。この後、喫煙試験は Borgwaldt 社製 1 本がけ自動喫煙機を用いて、流量 55 cc / 2 秒、喫煙間隔 30 秒の条件で自動喫煙を行う。この際、冷却セグメントに施された開孔が、非燃焼加熱式たばこと電気加熱式デバイスとが接触する領域の吸口端側の端部から 25.5 mm となるようにした。喫煙試験で発生した主流煙をケンプリッジパッドに捕集し、パフ動作を 12 回行なった後にケンプリッジパッドを取り出し、10 mL のエタノールにて抽出し、GC-MS を用いて各パフ動作で採取した主流煙中の各成分の量を測定した。

10

実施例 1 及び 2、並びに比較例 1 及び 2 における非燃焼加熱式たばこにおいて、上記の測定から得られた主流煙中のメンソールの量を図 7 に示す。

20

30

40

50